

● 診療科の特色

心臓血管外科では、心臓・大動脈疾患から、末梢血管・静脈瘤にいたるまで多岐にわたる疾患の診療を行っています。当科のスタッフは、3名の心臓血管外科専門医と2名のレジデントおよび診療看護師1名の6名体制で、年間約250例余りの症例を手術しております。また、緊急手術症例に対しては、循環器内科、麻酔科、手術部などの協力のもと夜間・休日を問わず対応できる体制が整えられています。

心臓弁膜症のうち大動脈弁は弁置換術が主流ですが、僧帽弁においては自己弁を温存する弁形成術を主に行う方針としております。最近では、比較的小さな傷で行う低侵襲手術(MICS: Minimally Invasive Cardiac Surgery)が広まってきていますが、当院においても、MICSを導入しています。

虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)の手術では、高齢者やリスクの高い患者様の増加を考慮し、人工心肺を使用しないオフポンプ冠動脈バイパス術(心臓が動いたまま行うもので少し難易度が高くなる)により、手術リスクの軽減を図っています。

肺高血圧症のうち、慢性血栓性肺高血圧症に対しては循環器科のカテーテル治療とともに当科でも肺動脈内膜摘除術が行われています。

大動脈瘤や大動脈解離に対しては、臓器保護の進歩、人工血管の改良などにより安全に行われるようになってきました。さらに高齢者やリスクの高い患者様に対しては、ステントグラフトを用いて、より低侵襲な手術を目指しております。

末梢動脈疾患はASOが主ですが、間欠性跛行肢に対しては、症状や活動性などにより、運動療法・カテーテル治療・手術を組み合わせ治療しています。下肢切断の危険性がある重症虚血肢に対しては遠位までのバイパスも考慮します。

下肢静脈瘤治療では、カテーテルを下肢静脈内に挿入し放出される熱により、静脈壁を収縮・閉塞させてしまう血管内治療を導入しました。カテーテルを差し込む小さな傷口だけで済ませることが出来ます。

● 入院診療実績

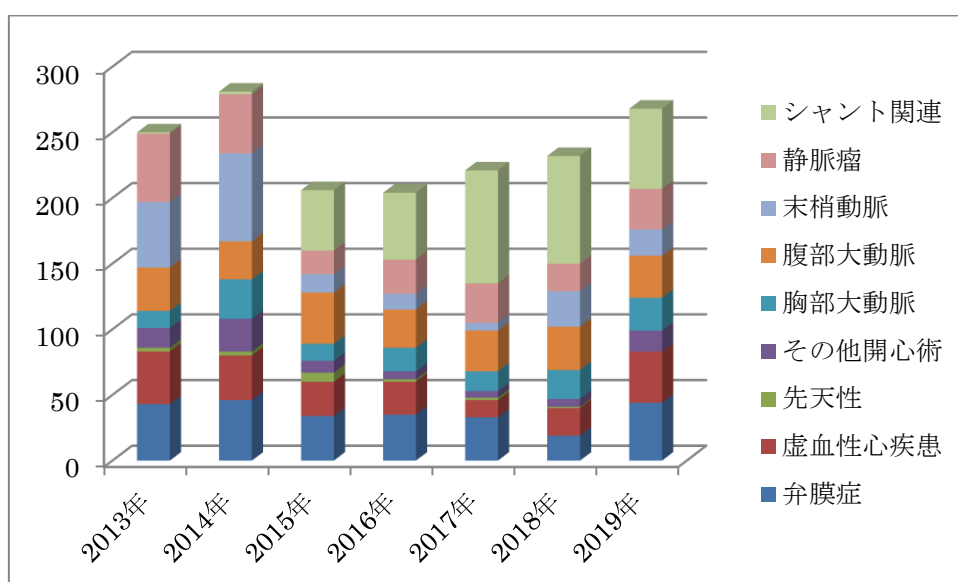
1. 主要手術 年間手術件数 268件

	手術名	件数
1	心臓弁膜症	41
2	虚血性心疾患	39
3	その他の心疾患	16
4	胸部大動脈疾患	25
5	腹部大動脈疾患	32
6	末梢動脈疾患	20
7	下肢静脈瘤	31
8	透析シャント関連	61

2. 手術件数の推移

1) 全手術件数

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
弁膜症	43	46	34	35	33	19	44
虚血性心疾患	40	34	26	25	13	21	39
先天性	3	3	7	2	2	1	0
その他開心術	15	25	9	6	5	6	16
胸部大動脈	13	30	13	18	15	22	25
腹部大動脈	33	29	39	29	31	33	32
末梢動脈	50	67	14	12	6	27	20
静脈瘤	52	45	18	26	30	21	31
その他	1	2	46	51	86	82	61
手術総数	250	281	206	204	221	232	268



3. 2019年度の取り組み

緊急症例など他院からのご紹介に対して、心臓血管外科医同乗のもと救急車(ドクターカー)でお迎えにうかがっています。

● 研究業績

1. 論文発表

1) Atsushi Tateishi, Masahiro Okada, Mikizo Nakai, Yutaka Yokota,
Yosuke Miyamoto

Spontaneous ascending aortic rupture in a pregnant woman with
neurofibromatosis type 1

General Thoracic and Cardiovascular Surgery, 67(11), 979-981

Nov.2019

- 2) Zenichi Masuda, Yosuke Miyamoto, Une dai, Yoshinori Inoue,
Atsushi Tateishi, Yutaka Yokota, Mikoza Nakai, Masahiro Okada
Acute Mitral Valve Endocarditis at the 24th Gestational Week

2. 学会、研究会

- 1) Meet the Expert4 左心耳マネジメントの最前線！
冠動脈疾患における左心耳マネジメントと AtrialClip の使用経験について
畝 大
第 33 回日本冠疾患学会学術集会
(2019 年 12 月 13 日 岡山市)

3. 講演

- 1) 第 33 回日本冠疾患学会学術集会 Meet tha Expert
畝 大
岡山コンベンションセンター

2019 年 12 月 13 日